

(様式第1号の2)

事業計画書

フリガナ	カブシキカイシャミエリョカン														
申請者名	株式会社三重旅館														
法人番号(13桁) (個人事業者は記載不要)	1	2	3	4	5	6	7	6	5	4	3	2	1	設立(開業) 年月	昭和50年8月
業種	1. DMO 2. 市町 3. 観光協会 ④ 観光関連事業者 → 該当するものに○を付けてください(宿泊施設、観光施設、土産物店、体験事業)														
資本金 (個人事業者は記載不要)	10,000,000円				常時使用する 従業員数				40人		消費税及び 地方消費税		① 課税事業者 2. 免税事業者 3. 簡易課税事業者		
補助事業の 対象施設名	三重旅館 伊勢店：伊勢市○○町○○番地○○号 三重旅館 志摩店：志摩市○○町○○番地○○号														
申請者概要 (事業者の場合、沿革、商品、業況等を記載) (DMO・市町・観光協会等の場合、観光の状況(入込客数の推移や把握している観光客の属性等)を記載)	(沿革・営業概要・業況) ・昭和50年に株式会社三重旅館を設立し、伊勢市に「三重旅館伊勢店」をオープン。 ・平成16年に志摩市に「三重旅館志摩店」をオープン。同時に伊勢店もリニューアルオープンし、現在は2店舗を経営。少し高くても良いものを求める中高年層をターゲットとする連泊型の旅館として、県外のお客様を中心に利用いただいている。 ・各店とも12客室あり。食事はすべて部屋食で、三重県産の食材をメインに季節にあった三重の山の幸・海の幸を提供。 ✓令和3年度宿泊者数：2店合計 約○○人(伊勢店：○○人 志摩店：○○人) ✓令和3年度売上実績：2店合計 約○○円(伊勢店：○○円 志摩店：○○円)														
① 新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた課題	(影響) ・新型コロナウイルスの影響で観光客が激減し、当旅館が位置する○○地域では、コロナ前の最大○%減少。近隣施設の観光客数も、令和3年度は前年比で○%減少。 ・当旅館の宿泊者数もコロナ以前の○年と比較し、○年は○人(○%減)まで減少。令和3年は○人(○%)まで回復したが、感染拡大防止の自粛要請等の影響が続いている。 ・売上は回復基調にあるものの、コロナ前の○年と比較し○○円(○%減)まで減少。 (課題) ・Go To トラベルや県民割等により、観光客数は少し回復傾向にあるが、外出先(訪問先)の施設等の感染症対策を気にするお客様が増えており、お客様が安心・安全に利用していただけるよう、感染予防・クラスター発生を防ぐための更なる対応策が必要。 ・客単価向上のために潜在ニーズの掘り起こしや新サービスを検討したいが、現在は勘頼みのため、宿泊者属性と紐付けたデータ収集の仕組みが必要と考えている。 ・昨年度からワーケーション目的で1週間程度滞在する方が増えている一方で、仕事に適した机や椅子、インターネット接続環境、印刷対応等の要望が増えており、コロナ禍での時流に合ったビジネスチャンスに対応すべきと感じている。 ・加えて、バケーションの時間帯に、複数の近隣施設と連携して、安心・安全な施設を周遊していただけるようなプランを検討・提案したい。														

<p>② 事業継続・持続 的發展に向けて の経営方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症の感染予防対策は今後も続く想定されるため、チェックイン・チェックアウト時の手続きを、すべて非接触で対応できるようにする。 ・滞在時の各種支払いはすべて専用ルームキーによる非接触決済とし、チェックアウト時に一括精算するシステムを導入。このシステムから顧客別データ（属性や購買データ等）を収集・蓄積し、今後のサービス開発等に活用する。 ・ルームサービスの一環として、お客様の要望に応じた外出時の周遊プランを作成。部屋食時には名物〇〇やお土産△△などの試食機会を提供し、気に入ったものを購入出来る仕組みも検討し、近隣施設の〇〇や△△などと連携して、地域内消費の拡大も図る。
<p>補助事業 の名称</p>	<p>ワーケーションルームへの改装及び、非接触チェックイン・アウトシステムと連携した、利用者データ蓄積システムの構築</p>
<p>③ 補助事業 の内容 (今回取り組む事業 内容を具体的に記 載してください)</p>	<p>※補助対象事業の区分（1.【観光DX推進事業】～3.【受入環境整備事業】）に分けて、該当する事業区分名とその内容について、記載してください。</p> <p>◆下記の事業内容は、すべて伊勢店で行う計画（将来的には志摩店にも展開予定）</p> <p>■1.【観光DX推進事業】</p> <p>①宿泊者の属性や傾向、周遊プランを蓄積できるシステムを構築。また、下記3.【受入環境整備事業】のルームキーと連動させることで、宿泊者の消費購買動向も把握・蓄積できるようにする。宿泊者の個別の傾向を把握することで、潜在的なニーズを掘り起こし、更なるサービスの向上につなげる。</p> <p>■2.【長期滞在促進事業】</p> <p>②ワーケーションニーズに対応して、現在の客室2室を4つのワーケーションルームへ改装する。浴槽や寝具などの宿泊に必要な設備の整備・導入に加え、新たに高速Wi-Fiを設置。また、電子機器の利用が多いことから、コンセントを増設し、快適に仕事ができる環境を整備する。</p> <p>③近隣への周遊性向上を図るため、ワーケーションでの宿泊または、長期滞在（2泊以上）される方に対し、食事やルームサービスの際に「地域のお土産・名産食べ比べ」を提供し、地域のお土産や名産を紹介（試食）する場を設ける。気に入った商品があれば、直接お買い求めいただけるよう該当商品を販売する近隣施設等を含めた周遊プランを作成する。（※補助事業の対象経費はないが、当事業も同時に実施する計画）</p> <p>■3.【受入環境整備事業】</p> <p>③感染症対策として、チェックイン、チェックアウト時の従業員と宿泊者の接触機会を削減するため自動受付機を導入。チェックイン時は、QRコードによるチェックインとルームキーの受け渡し、チェックアウト時は、ホテル内の各種決済（宿泊費の支払い、飲食物の購入、ルームサービスの利用料等）を専用ルームキーで行い、チェックアウト時にまとめて、請求することができる設備を導入する。</p>
<p>④ 補助事業の 目標と期待 される効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的に、連携している近隣施設等の利用者の属性や傾向、消費購買動向のデータも蓄積する。より多くのデータを蓄積し、活用・共有していくことで、施設単位だけでなく、地域単位での潜在的なニーズも把握できる。また、地域ぐるみで、サービスの向上を図ることで、来訪者数や滞在時間の増加の相乗効果も見込める。 ・周遊プランを作成し、連携する近隣施設の利用を促すことで、他施設との相乗効果が期待でき、滞在時間・日数の増加が見込める。 ・チェックイン、チェックアウト時の人員を削減することで月〇名分の業務削減を目指し、生産性の向上や新サービス開発要員に充当する。 ・上記により、月間営業利益は本事業開始前の〇%増を目指す。

補助事業の実施期間	令和4年8月5日（金） ～ 令和4年12月20日（火）	
スケジュール （年月）	実施項目	実施内容（発注・工事開始・工事終了・検査・支払 等）
R4.8 月上旬	①～③設備の発注	設備等の発注
R4.9 月中旬	①システム構築開始	システム構築開始
R4.10 月上旬		工事開始
R4.10 月下旬	②・③工事開始	工事終了
R4.11 月上旬	③工事終了	検査・納品
R4.11 月中旬	③検査・納品	検査・納品
R4.11 月下旬	①システム完成	検査、支払
R4.12 月上旬	②工事終了、③支払	検査・納品
R4.12 月中旬	②検査・納品	支払
	①・②支払	

※各項目欄は、記載内容に合わせて拡大可能です。ページ数に制限はありません。